



神野義孝 議員
| 市民21 |

災害時の避難所運営について

東海地震では多くの避難者の発生が予測される。静岡県東海地震第3次被害想定では、避難所人口は最大約2万3000人で避難所収容人口を約9500人超過している。避難所の不足が懸念され、避難所の運営について伺う。

問 避難所確保の基本的考え方。

答 避難の基本は自宅、次に親類宅や公民館など、次に市指定避難所である。不足の場合は各施設の拡大、移動、避難地活用、新施設の開設等を行う。

問 学校等避難所の運営では、自主防災組織主体の避難所運営を速やかに始動し、学校等の負担軽減が重要である。行政・地域・学校等の連携は。

答 中学校区単位で毎年自主防災連絡会議を開催、役割等を調整し連携を深めている。



家康公が御殿場で仰いだ秀峰富士

御殿場発祥の基となった御殿造営から400年を迎えるにあたっての記念事業について

徳川家康公は1615年駿府と江戸の往復のための休憩施設を御殿場に計画し、翌年御殿が建設された。市内には、家康公ゆかりの祭りの三役制度の伝統など、御殿場ならではの歴史と文化が多く、記念事業について伺う。

問 記念事業への市の考えは。

答 大変意味のあるものとして捉え、何らかの記念事業を検討していく必要がある。実施する場合は行政が中心となり、実行委員会なるものを組織し市全体で取り組みたい。実施時期は2016年を一応の目安と考えている。



杉山章夫 議員
| 至誠清風会 |

行政改革大綱について

問 ①行政改革推進項目の進捗状況について伺う。

②世界同時不況、東日本大震災等の社会情勢の変化による計画の見直し、課題の有無を伺う。

③各部に推進員を置き全職員に周知浸透を図る中、行動計画実施の見直しの課題について伺う。

答 ①全35件中34件が計画通り実施。効果については35件中31件が想定通りの効果を得た。

②計画を変更する必要は薄いですが、時々の状況に合わせ柔軟に対応することは大切。御殿場型NPMを実践的に機能させ、職員の意識を高めること等が課題。

③目標に向け達成率を検証し実施方法・手段等課題を把握。その都度PDCAサイクルを回すことで見直しを進めている。

問 各項目が連携する新たな取り組み計画及び職員提案で市民サービスに繋がったものと職員の意識調査を行った結果を伺う。

答 市民課窓口と呼び出し番号の計画と印鑑証明、住民票のコンビニ交付事業等がある。意識調査結果は御殿場型NPMへの理解は67%、業務改善への意識は80%、マナー向上計画の取り組みは75%であった。

問 職員の能力を引き出し、年齢にこだわらず、能力や実力が備わってきた職員を登用していくことが重要と考えるが、市長の考えを伺う。

答 職員の年齢、経験や知識も基準となるが、能力重視の登用、市民サービスに能力を発揮できる適材適所の配置が肝要と認識。



よりよい市民サービスを目指して